



むこう市社協だより

福祉パレット

社協会員へのご加入をお願いします

みんなでつくろう 福祉のまちづくり

誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指すため、多くの方々に会員となつていただき、さまざまな取り組みをおこなっています。皆様からお寄せいただく貴重な会費は、向日市社協の貴重な財源となつており、次のような地域福祉事業に使わせていただきます。

地区社会福祉協議会（地区社協）への支援
 一人暮らし高齢者への防災・福祉合同パトロール



敬老祝品の贈呈
 障害者（児）ふれあいレクリエーション
 福祉団体への支援（老人クラブ、障害者団体、子ども

ぜひ会員となつて、地域福祉活動にご支援、ご協力下さいませようをお願いいたします。

会費口数には制限はありません

自治会、町内会を通じてのお願い

一般会員	会費 1口	500円
特別会員	会費 1口	3,000円

向日市内の企業・団体の事業所の皆様へお願い

賛助会員	会費 1口	5,000円
------	-------	--------

福祉のまちづくりにご賛同いただく篤志家の皆様へお願い

名誉会員	会費 1口	10,000円
------	-------	---------



会）子育て支援事業（子育て支援講座など）福祉資金の貸付

Q 社協ってなあに？
 向日市社会福祉協議会（向日市社協）は、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」の実現を目指して、地区社協活動をはじめとする地域のさまざまな取り組みを支援している社会福祉法に基づき民間の社会福祉法人です。

お問い合わせ先
 総務係 電話：932-1960

向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様方から寄せられた善意である赤い羽根共同募金の配分金の一部を財源として、年に3回（7月・11月・3月）発行しています。

向日市社協では、今後も市民の皆様方に関心と親しみを持って読んでいただけるように、紙面の充実に努めていきたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がございましたら、お気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先 向日市社協 総務係 (TEL: 932-1960)



平成16年度事業計画、予算概要

平成16年度事業計画と 当初予算が決まりました

大きく変化する地域社会で、安心して充実した生活を送るために、地域社会を基盤とした福祉を推進することが必要です。地域福祉の推進役である本会においては、21世紀の参加型福祉社会の実現のために、地域住民の積極的な参加を得て、地域福祉の新たな枠組みづくりを積極的に推進することに努め、また地域福祉活動計画見直しの年次を迎え、本年度は以下5項目を重点目標に定め、行政当局をはじめ、地区社協、医療機関、ボランティア、福祉関係者等の理解・協力・参加のもと積極的に諸事業に取り組んで参ります。

重点目標

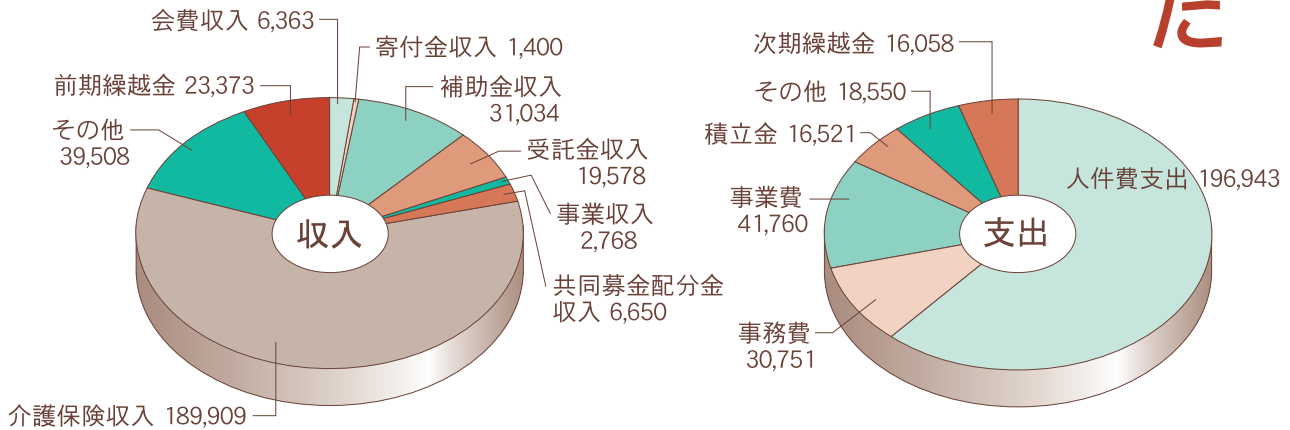
- (1) 地域福祉権利擁護事業の拡充
- (2) ボランティア事業の充実
- (3) ほのぼの広場推進事業の実施
- (4) 子育て支援事業の展開
- (5) 在宅福祉サービスの充実

新規・拡充事業

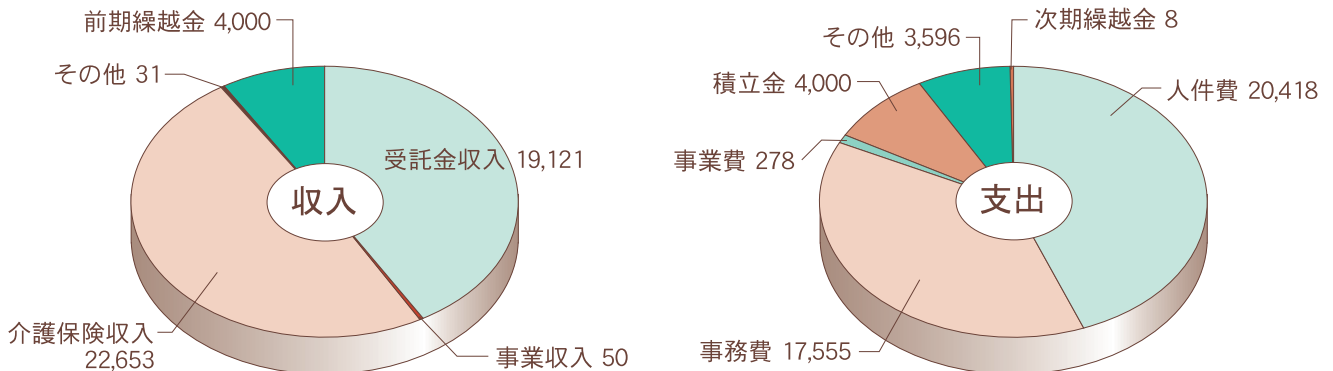
- リスクマネジメント研修の開催【拡充】
- ほのぼの広場事業への支援【新規】
- 子育て支援事業の実施【拡充】
- ボランティアフェスティバル(仮称)の開催【新規】
- 災害仕分けボランティアの育成【新規】
- ボランティア連絡会への支援【充実】
- 基幹的社協の受託運営【新規】
- 生きがいデイサービス事業の実施【拡充】

平成16年度予算 (単位：千円)

一般会計 320,583



公益事業会計 45,855



平成15年度事業報告、決算報告

平成15年度の事業報告と収支決算が、監事による監査を経て、平成16年5月24日の理事会で認定を得て、5月26日の評議員会で承認されましたので、次のとおり報告させていただきます。

事業実施に当たりましては、自主財源となりますが、職員からの会費、善意のご寄付など多くの皆様方をはじめ、行政機関、連合自治会、民生児童委員、福祉関係団体、ボランティアなどの方々から、格別のご理解とご協力をいただきましたこと厚くお礼申し上げます。

重点目標

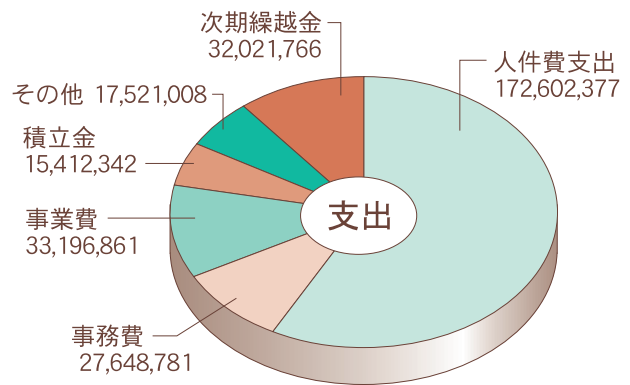
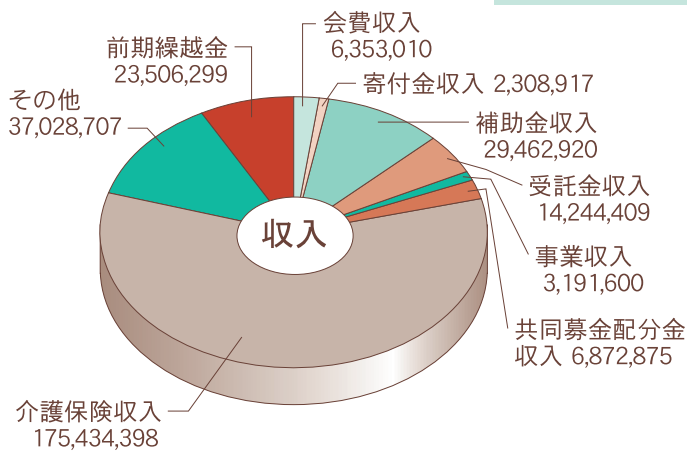
- (1) 福祉に対する理解と関心を深める
- (2) 担い手とネットワークづくりを進める
- (3) 自立生活を支える活動・サービスを充実する

新規・拡充事業

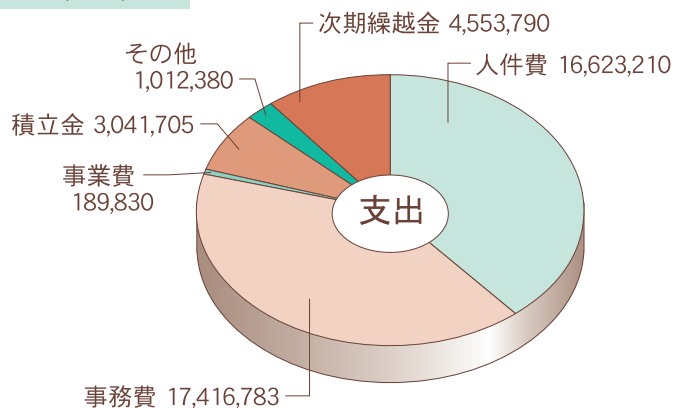
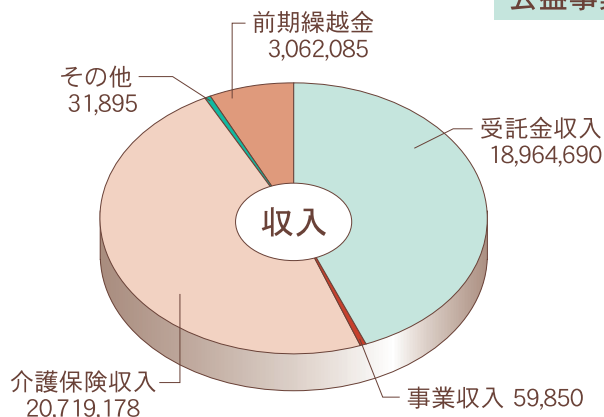
- リスクマネジメントによる安全の確保と環境整備
- 高齢者対策事業の実施に向けた調査研究
- 地域福祉権利擁護事業の拡充
- ボランティア活動センターの基盤整備
- 支援費事業の実施
- 生きがいデイサービス事業の拡充
- 介護保険事業の拡充

平成15年度決算概要 (単位：円)

一般会計 298,403,135



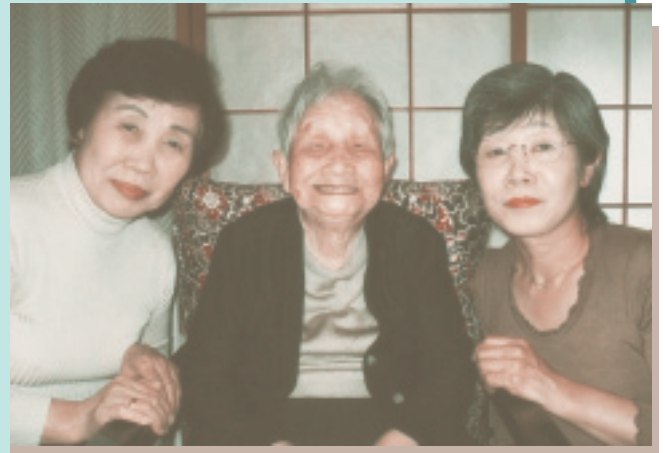
公益事業会計 42,837,698



ヘルパーと ともに パート⑦

娘の介護で幸せに

清水 トミさん (96歳)
矢部美智子さん (次女・57歳)
藤田満佐子さん (長女・72歳)



娘と居ると安心

トミさんの人生

トミさんは、平成12年、92歳の時から次女である矢部さんと同居されています。伏見で生まれ、18歳で結婚三男四女をもうけられました。
しかし、二人を小さい時に亡くされ、末娘さんは、ダウン症という障害を持って生まれ、と想像もつかない苦労をされてきました。
絵羽縫い(和服の柄合わせ)他色々な内職を夜遅くまでしながら子供達を育て、末娘さんの世話も80歳になるまで頑張っていてこられたそうです。
現在、末娘さんは、施設入所されていますが、そのお世話は、次女さんが受け継がれ、毎月面接に行かれたり外泊させてあげたりしておられます。
そんなトミさんは、今、孫9人、ひ孫17人に囲まれ幸せいっぱいです。

母娘の介護生活

トミさんは、平成13年に小脳出血のため入院後しばらくは、オムツを使用されたこともありましたが、献身的な介護のおかげで今はオムツも取れ、歩行器でトイレへ行かれます。夜は、ポータブルトイレを利用してはいますが、娘さんがベッドの横に寝てあげられ、夜中2〜3回は介助されているとのこと。
長女さんは、名古屋在住なのですが、毎月一週間前後は泊り込みで通われ、次女さんの介護を手助けされています。
次女さんは、「姉の協力があるので、介護が続けられている」と言われていますし、トミさんは、「私は何もしていないのに、こんなに世話になって…」と娘さん達に感謝されています。

トミさんとヘルパー

トミさんに対してヘルパーは、日曜日を除く毎朝1時間、起床・トイレ介助・着替え・洗面・朝食という朝の介護をお手伝いしています。

ヘルパーが訪問することで、毎朝パジャマから洋服に着替え規則正しい生活ができるし、家族とは違う話しかけをしてもらえるので良い意味での刺激や緊張感を持つことができる。トミさんは言っています。

トミさんも、ヘルパーに対して嫌な顔ひとつされたことなく、いつも穏やかでニコニコされています。娘さんの気遣いについての介護で、本当に居心地が良いのだらうと思います。

娘さんと介護

「介護される本人(母)がどう思っているか、その気持ちが一番に考え介護している。若い頃から苦労した母だから、年を重ねた今、ゆったりと過ごして欲しいと思う」と言われる



さあ、トイレ行きましょね!

娘さん。お母さんへの思いがひしひしと伝わります。
例えば、寝てばかりいても疲れるし、座ってばかりいても肩が凝るのでマッサージをしてあげる。一人ではテレビを見てもつまらないし、おやつも一人では美味しくないので一緒に食べてあげる。食事は家族と同じ物で、硬い物大きい物だけは小さく切ってあげているが、まず元の形を見てもらってから目の前で切ってあげるといいうように細かい心遣いをされています。
そして最後に、「母を引き取ることを積極的に勧めてくれ、協力してくれているご主人と子供達に心から感謝している」「介護する者、される者がお互いに感謝の気持ちを忘れずに接することが、一番大切だと思う」と話して下さいました。

登録ヘルパーさんを 募集しています

ヘルパー資格2級以上をお持ちの方、気楽にお電話下さい。

お問い合わせ先
向日市社協
ホームヘルプセンター
(TEL:932-1968)



地区社協活動のご紹介

ふれあいと

思いやりのまちづくり

森本地区社協編



向日市には、小地域（行政区）を単位として、8か所（物集女・寺戸・森本・鶏冠井・上植野・向日・西向日・向日台）の地区社会福祉協議会（略称：地区社協）が設立されています。

地区社協は、地域住民の主体による団体で、高齢者の配食活動や世代間交流行事、ふれあいサロン活動、地域福祉懇談会等をはじめとした地域に密着した活動を日々展開しております。

連絡先

向日市社協 地域福祉係

TEL：932・1961

今回は、森本地区社協の活動をご紹介します。

森本地区社協では、一人暮らしの高齢者等を対象に、年に3回配食活動を実施しております。

このたび、配食活動に従事しておられるボランティアの皆さんが着用される調理用の白衣と調理キャップ（帽子）を新しく揃えられました。この日の配食数は約120食で、ボランティアの皆さんは食中毒の予防に十分留意された上で、清潔な白衣とキャップを着用され、調理に励んでおられました。

向日市社協では、今後も福祉パレットにおいて、地区社協活動をご紹介します。

ので、地区社協活動に関心のある方は、お気軽に向日市社協までご連絡下さい。

サマーボランティア2004のお知らせ

あなたの世界を広げませんか？！

笑顔に出会えて、喜んでいただける。
そんな経験は、なかなかないですよ。

レッツ！ チャレンジ！！

福祉って？ボランティア活動って？という学生さん（高校生以上）達に夏休みの3日間を通して、福祉体験をしてもらえればというプログラムを今年も企画しています。進路が見えてくるかもね！



期 間 7月28日～8月31日の内の3日間

参加費 無料（食費・交通費は実費です。）

協力期間 高齢者施設、障害者施設、市立保育所 等

受付期間 7月5日(月)～16日(金)
9時～17時

土・日は除きます。

高校生は、保護者の同意が必要です。

お問い合わせ先 向日市社協 ボランティア活動センター (TEL：932 - 1961)

デイサービスってどんな所？

●●● 棕本よしさんの一日 ●●●

「デイサービスってどんなところ？」という方のために、今回は平成15年3月からご利用いただいています棕本よしさんに1日密着取材をお願いして、向日市デイサービスセンターの一日をご紹介します。

朝の健康体操、レクリエーション



家ではなかなかできないねー！

お迎え



まだかまだかと待っていたよ！

棕本よしさんのプロフィール

昭和9年2月25日京都生まれ。約20年程前に向日市に移住。繊維関係の仕事をして20年程されていました。現在はご主人と2人暮らし。おしゃべりが大好きで明るい性格。カラオケも大変お上手です。

新規事業

生きがいデイサービス

▶ 利用者募集しています。 ◀

好評
開催中！

利用曜日は、月曜日から土曜日まで週1回から2回までご利用いただくことができます。

お問い合わせ先 向日市デイサービスセンター (TEL: 931 - 3294)



午後の自由タイム

今日は得意のカラオケだー!!



昼食

みんなて食べると美味しいねー

洗濯干しのお手伝い



職員、非常に助かってます

おやつタイム



仲がいいねー 見てるこっちが恥ずかしいヨ

お送り



またねー

今後の活動予定

- 外出
- 流しそうめん
- 絵手紙
- ピアノコンサート
- おやつ作り
- 誕生日会
- カラオケ大会
- 卓球バレー大会
- 製作
- 特別食
- などなど盛り沢山!!

椋本さんより一言

私は週2回デイサービスを利用しております。朝は入浴させてもらい、お昼からは、カラオケ、ゲーム等で楽しく過ごしております。春にはお花見、秋には買物等、外出行事もあり、大変楽しみなことも多いです。デイサービスを利用するようになって、色々な楽しみが増えました。これからも皆様と仲良く、楽しくやっていきたいと思っております。

取材のご協力ありがとうございました。

くらしの資金 (夏期) 貸付のご案内

疾病や失業により、一時的にお金のやりくりに関ったり、緊急に資金を必要とする方のために、「くらしの資金」の相談を受け付けます。

貸付限度額 一世帯あたり、10万円以内
 受付期間 7月5日(月)～16日(金)・9時～17時
 土・日は除きます。

お問い合わせ先 向日市社協 地域福祉係
 (TEL: 932-1961)

三菱電機 株式会社 指定寄付金のお礼



三菱電機株式会社様及び三菱電機SOCIO-ROOTS基金様より、障害者福祉を目的とした事業に充当するように、京都府共同募金会を通じて、23万円の指定寄付金をいただきました。

同社では、従業員から寄せられた募金額に対して、会社がその同額分を上乗せし、同SOCIO-ROOTS基金に蓄えられた後、年1回福祉団体へ寄付しておられます。

向日市社協では、「社会参加の促進」と「心のふれあい交流」を目的に開催している「障害者(児)ふれあいレクリエーション」の事業費の一部として、指定寄付金を使わせていただきました。ご協力ありがとうございました。

善意のご寄付 ありがとうございました。

(平成16年1月23日～平成16年5月20日)
 順不同

服部 弘泰 様 40,000円
 乙訓地区労働者福祉協議会 様 700,000円
 乙訓明るい社会づくり運動の会 様 11,000円
 ボランティア募金箱 23,281円
 神崎屋 様
 キッチンタロー 様
 ナカムラヤ 様
 なかの食品 様
 中華料理ほあんほあん 様
 はなこ 様
 向陽ゴルフセンター 様
 ライフシティー東向日 様
 フォレノワール 様
 くらしハウスやすだ 様
 タックメイト万源 様
 デイリーヤマザキ向日町郵便局前 様
 カジトモ 様
 野村龍酒店 様
 洛園 様
 生島商店 様
 翠扇 様
 オカダ酒店 様
 牛若 様



福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)のご案内

住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために

痴呆や知的障害、精神障害のある方を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らしていただくために必要な福祉サービスの利用をお手伝いしています。

お手伝いしている内容は、福祉サービスに関する情報提供や助言、利用手続きや日常的な金銭管理等です。

事業の内容や利用方法、利用料金等の詳細については、お気軽に向日市社協地域福祉係までお問い合わせ下さい。

お知らせ

平成16年4月1日から、向日市社協が乙訓ブロック(向日市・長岡京市・大山崎町)における福祉サービス利用援助事業(地域福祉権利擁護事業)の基幹的社協となりました。今後は、長岡京市社協と大山崎町社協と協力しながら、事業の普及・啓発に取り組みとともに、事業の充実を図ってまいります。



最近、物忘れがひどくなってきて、福祉サービスの利用やお金の管理が心配になってきたなあ....

お問い合わせ先

向日市社協 地域福祉係

(TEL: 932-1961)